



3月の園だより

令和3年3月1日
鶴来第一幼稚園
園長 大角 智恵美

「もう春だよ」今朝そう言って登園してきた子がいました。年少の女の子でした。カレンダーを見てそう言ったのか、暖かい陽射しを感じてそう言ったのかはわかりませんが、季節の変化に気づくことができる感性を持っていることを嬉しく感じました。園庭の梅が咲き始めました。山バスで山麓方面へ向かうとまだまだ雪がたくさん残っていますが、春はもうそこまで来ているようです。

3月のねらい

先週の水曜日、次の日の最低気温がマイナス4℃になると予報が出ていました。年長さんに伝えると、水を入れた容器をテラスにいくつも並べていました。次の日、数人の子が登園するなり外へ行き、氷ができていないかを確認していました。残念ながら予報ほど気温が下がらず、並べた容器の中は凍っていませんでした。でも、よくよく探してみると足洗い場の水道のところや片付け忘れたバケツの中などに氷を見つけ、急いで部屋に持って入って友達や年下の子たちに教えていました。その次の日も、「氷あるか見てくる！」と登園後すぐ外に確認に行っていました。子どもたちの遊びや経験は連続しているなと感じた3日間でした。

つくし ○身の回りのことを意欲的にしようとする。

○異年齢児との交流を楽しむ。

○身近な自然に触れ、春の訪れを感じる。

年少 ○友達と思いを伝え合いながら、一緒に遊んだり簡単なルールのある遊びをしたりすることを楽しむ。

○生活の中で見通しを持ち、身の回りのことを進んで行おうとする。

○春の自然を見つけたり、触れたりして、季節の変化を感じる。

年中 ○友達と生活や遊びを進めていく楽しさを味わう。

○様々な活動に進んで取り組む中で、進級する喜びと期待を持つ。

○春の訪れや生き物の変化に気づき、身近な自然に興味や関心を持つ。

年長 ○成長の喜びを感じ、自信を持って行動する。

○友達とお互いの良さを認め合い、園生活を存分に楽しむ。

○みんなでしたい遊びを楽しみ、就学に期待をもって過ごす。



○卒園式について

21日(日)は第47回卒園式ですが、在園児の参加はありません。つくし、年少、年中さんはお休みとなります。卒園児は年長だよりで詳細をお知らせします。

○卒園記念品として、柿の苗木と、図書番くん(図書の管理システム)を導入させていただきました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。

4月の予定



★4月2、5日…預かり保育(給食の提供はありません)

★4月6日(火)…始業式(一日保育)

★4月8日(木)…入園式(新年長・中は一日保育/新入園児は式終了後、親子で降園します)

※バス通園の方は、3月22~4月8日は臨時のバス時刻になります。後日配布いたしますので、確認よろしくお願いします。



○保育参観感想より

先日はお忙しい中、保育参観にお越しいただきありがとうございました。お寄せいただいた感想をいくつかご紹介させていただきます。

木曜日は参観の機会をありがとうございました。普段、幼稚園の様子を聞いても「おままごとした～」くらいの情報しかなかったので、お友達と協力してカルタをしたり、嬉しそうにダンスをする様子が見られて良かったです。みんなが同じタイミングで大笑いしたり雰囲気の良い音が伝わってきて、月曜日になると「早く幼稚園行きたい！」とワクワクしている理由がわかりました！ (年少)

保育参観ありがとうございました。事前にかかるたの事を話してくれていた事もあり楽しみにしていました。写真のこともしっかりインタビューで答えたりみんなとがんばっている姿に成長を感じました。参観中はずっとびよんびよんはねたり笑顔で嬉しそうなお姿を見ることができよかったです。 (年少)

印象的だったのは、教室の設計図を作る作業の始めに、班の代表を一人決めて、前に紙を取りに行くという場面でした。先生が各班に配るでもなく、指名するでもなく、子どもたちが話し合いで、誰が紙を取りに行くのかを決めさせていて、各班それぞれ違った決め方をしたように見えて、何気ないことのようにみえて、そういう日々のやりとりが成長をうながしているように思えて、その年長さんらしい仲間とのやりとりを垣間見られたこと、とても嬉しかったです。心に残る最後の参観日でした。ありがとうございました。 (年長)

林先生とジビ先生が明るく楽しく一緒に過ごしてくださっているのがわかり、よかったです。園によっては一日中マスクだったり、「お友達と離れて」と指導されているところもあるそうですが、ふれあいは子どもたちの成長にとってとても大切なことだと思うので、手をつないだりギュッと集まる姿を見てほっとしました。大人からするとコロナだからとなんでも中止、禁止にしてしまいがちですが、子どもたちにとって一日一日の生活が大事な時期。大掛かりでなくても、ささやかであっても、心を育てることを大切に、接していきたいし、そんな園であってほしいなと思いました。 (年中)

○「いただきます1～みそをつくるこどもたち～」上映会を終えて

26日（金）に「いただきます1」の上映会を行いました。見終わると子ども達をギュッとしたくなりました。頭で考えるのではなく、心で感じる映画だなと思いました。今回ご参加くださった方の感想をご紹介します。

子どもたちに何がしてあげられるのか、考えさせられるあたり内容でした。まずは味噌づくりをうちでしたいと思います。ありがとうございました！

よく食べ、よく遊び、心も体もたくましく育て、見ていて、勇気がもらえ、子どもって本当に素直ですごいなあと感じました。我が子は、見て好き嫌いを判断して、食べず嫌いなどところがあるので、“もう遅いかな？”と思わず、心を込めて、料理をしていきたいと強く思いました。

続きの映画も見たいと思っていますので、そのときはぜひご覧ください！



幼稚園にも案内が届いていた熊谷守一展を、石川県立美術館に見に行ってきました。絵の横にあるコメント欄を読んでいたら、熊谷さんの絵を描くスタンスは、「見る」「感じる」そして「考える」なのだそうです。（うるおぼえです🐞）絵を描くために物を見るのではなく、見ているうちに描く意欲が湧いてきたそうです。

子どもたちの遊びも同じですね。何かを見たり、聞いたり、体験したりしたことを、表現したり再現したりしたいと思うことが、遊びの始まりなのだと思います。

出口で、福音館書店から「0.1.2えほん」シリーズで絵本になっていたの、思わず買ってしまいました（笑）玄関に展示して置くので、ご自由に手に取ってみてください。



いつもより遅れてスタートとなった今年度も、残りひと月となりました。初めての状況に、普段の保育も行事も迷いながらの一年となりました。なかなか保育の様子をお見せできず、保護者のみなさまもモヤモヤすることが多かったかもしれません。しかし、新しいことに挑戦できた年でもありました。今年の経験をまた次の年に生かし、成長できる園でありたいと思っています。一年間幼稚園の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。